



廿日市市

平成31年1月1日 第58号

迎春

シルバーだより



廿日市：阿巖太鼓の獅子舞



謹んで新年のご祝詞を申し上げます
皆様のご健康とご多幸を
後職員一同心から
お祈りいたします

理事長 岡崎美弥子
常務理事 高嶋眞二
理事 猪崎宏浩

監事 尾畑初雄
吉谷孝雄
須藤廣次
茶木好信
舛原武司
舛原和子
吉野加代子
吉岡文朗
若松秀晏
田中博隆
湊崎義則

事務局長兼務 高嶋眞二

職員一同

公益社団法人 廿日市市シルバー人材センター

会員数
正会員 685人
男性 522人
女性 163人
(平成30年12月10日現在)

〒738-0023

廿日市市下平良1-1-5

電話 0829-20-1468 FAX 0829-20-1470

ホームページ <http://webc.sjc.ne.jp/hatukaichi/>

編集・発行 広報・福利厚生部会 センター事務局



新年のごあいさつ

夢サロン作品 干支



廿日市市シルバー人材センター

理事長 岡崎 美弥子

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、ご家族揃ってお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成31年元旦、今年は「平成」最後となる新年を迎えました。

昨年は、元年に設立した当シルバーも30周年記念式典を挙げていたしました。

振り返りますと、我が国において平成30年間で最も大きな記憶にあるのは、平成7年の「阪神・淡路大震災」平成23年の「東北大震災」身近で起きた「西日本集中豪雨」国民の多くは被災地へ沢山の心を寄せ、今も尚早い復興を望んでおります。又、「地下鉄サリン事件」「南北首脳会談」史上初の「米朝首脳会談」等。又、記憶に嬉しいこともありました。シドニー五輪女子マラソン高橋尚子さん、アテネ五輪野口みずきさんと共に金メダル獲得、フィギアでは荒川静香さん、羽生結弦さん共に金メダル獲得等、30年という沢山の歴史の上に2019年4月でもって「平成」は幕を降ろします。

さて、我が国は少子高齢化が進展する中、多くの業種における人手不足分野や保育及び介護等の現役世代を支える分野での労働力確保に奔走しています。

平成30年2月に閣議決定された「高齢社会対策大綱」においては、「退職後に、臨時的・短期的又は軽易な就業を希望する高齢者等に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供するシルバー人材センター事業を推進する。」とされたことは記憶に新しいことです。

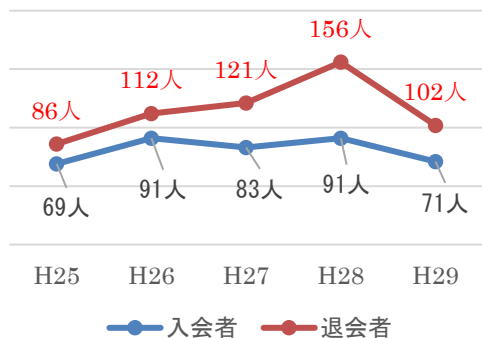
全国会員は、平成21年に79万人に達成した後減少傾向を続けており、そこで平成30年～7年後「第2次会員100万人達成計画」を策定し、職員・役員・会員が計画を共有し、全国一体となって実現を目指す目標とされております。

廿日市市シルバーにおいても、会員の増加により地域社会や地元企業などのニーズに十分応えることが出来、地域に根差したセンターとなり、地域を支える力が広く社会に認知され、会員が誇りを持って活動に取り組むことができます。

関係各位におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。本年も皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

会員の入退会の状況

5年間の入会者と退会者の推移



センター理事（役員）は、毎月交替で入会説明を行います。
会員拡大はセンターの活力となります。



写真は、役員による「入会説明会」の様子

平成31年を迎えて

廿日市市長 眞野 勝弘



新年、明けましておめでとうございます。

廿日市市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、広島・岡山両県を中心とした西日本豪雨など、日本各地で大きな自然災害が発生し、甚大な被害に見舞われました。今年は、穏やかな1年となりますことを願っております。

また、本市が市制を施行して30周年、廿日市市シルバー人材センターの設立30年という節目の年でもあり、揃って新たな歩みを始めたことを嬉しく思います。

廿日市市シルバー人材センターでは、高齢者の就労、並びに、地域社会への貢献に取り組んでいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨年発表された、日本人の平均寿命は、男性81.09歳、女性87.26歳で、いずれも過去最高を更新しています。「よく食べる事」、「人と話をして笑う事」が長寿の秘訣と言われますが、今後は、健康寿命の延伸にも力を入れて参りたいと考えております。

シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、これからも、元気で仲間とともに働き続けていただきますことを願っております。

本市といたしましても、これまで培われた豊かな知識や経験を、地域社会で活かす取組を推進されている、シルバー人材センターに対する支援を続けて参りますので、引き続き、廿日市市のまちづくりにお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、廿日市市シルバー人材センターの益々のご発展と、新しい年が皆様にとりまして、笑顔あふれる1年となりますことを、心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

廿日市市議会議長 仁井田 和之



新年明けましておめでとうございます。

廿日市市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、市制施行30周年でしたが、廿日市市シルバー人材センターにおかれましても、設立30周年の節目の年でございました。

シルバー世代の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するという目的に沿った基本理念に基づいた施策を一貫して推進され、その役割を果たしてこられましたことに対し、改めて敬意と感謝を捧げるものでございます。

これからも、シルバー人材センターの役割は、ますます重要になるとともに、地域の皆様の期待もより大きくなっていくものと思われまます。

昨年11月、岡崎理事長様から「生涯現役社会を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望」をお受けしました。

ご要望をしっかりと受け止め、市議会といたしましても、廿日市市シルバー人材センターの事業の発展、拡大が図られるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

さて、今年の干支は「亥」。猪突猛進、目標に向かってまっしぐらに進む、そのような勢いと元気のある年にしていきたいものです。

結びに、廿日市市シルバー人材センターの皆さま方のご健勝と、ご活躍を心から祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



「老後の楽しみ」

友和班 小松 茂美



あけましておめでとうございます。

還暦は、長女の住む北海道で、次女、三女も集まり祝って貰った。

あれから12年、4人だった孫は7人になり、ひ孫も1人できた。長女の次男は、駅伝で中学・高校と北海道代表として全国大会に出場し、リタイヤした私を楽しませてくれた。

旅鴉の様な職人仕事を30年以上続けて来て、総運転距離は150万kmに達した。

何の趣味も無く、仕事だけの人間と思っていたが、退職後気が付いた。車の運転こそが「趣味」だったんだと。

シルバー人材センターにお世話になって4年目。最初のころは、四国一周、九州一周、能登半島一周と、随分と遠出もしたが、最近はせいぜい一泊二日の近場旅行。派遣で頂く給料を趣味のドライブ旅行に、ずっと使わせて頂く為に健康に気をつけて、今年も頑張ります！

長女の次男、「箱根駅伝」出られるかな？！

「年男を迎え今年の抱負」

四季が丘班 栗本 裕二



明けましておめでとうございます。

私は、昭和22年1月生まれの72歳になる年男です。

県北の田舎町で男ばかり4人の末っ子として生まれました。就職後は各地を転々とし、平成3年から廿日市市四季が丘に定住してまもなく30年になります。

廿日市市シルバー人材センターには、60歳となった前回の亥年に入会して剪定を始めました。干支でいえば今年で一巡しました。

シルバーで剪定業務に従事して12年となりますが、次の亥年を目指して、自主・自立・共働・共助の理念に基づき引き続き仲間と業務に努めながら、今年は剪定期期のバランスのとれた年間契約の顧客を開拓したいと思っています。

また、今年はカーブが4連覇するので、チケットを15試合はゲットしたいです。それでは、今年のキャッチフレーズ『水金地火木ドッテンシルバー』でガンバロー！

どうぞ今年もよろしくお願い致します。

「第2の人生をシルバーで」

大野9区班 野村 清二



新年明けましておめでとうございます。

昨年総会にて10年表彰をいただき定年後もう10年が経ったと改めて思いました。

振り返ってみると定年後半年間スポーツジムにて体力強化をし、第二の職としてシルバー人材センターに身をおき、草取りからはじめました。定年後に長く就労できる仕事はないかと考えた時、剪定の仕事が一番と思い、剪定講習会を受けて木の種類によって技術を覚えていき今日に至っております。

お客様のところで就業後「きれいになった」と大変喜ばれる事が多くあり、喜ばれる顔を見ることを糧にしながら励んでまいりました。剪定中はより良い庭づくりの提案をし、近所に始業時の挨拶に行ったりしているうちに注文をいただけるケースが多くなりました。体に気を付けてお客様に迷惑をかけないことを念頭に入れ就業をし、また新しい剪定会員を募集するため大野でのシルバー入会説明会に積極的に参加し、数人の会員を増やすことができ今の仕事量をこなすことが出来ています。また各就業先のロケーションによって持参道具、脚立の長さ、備品の用意などが認知症予防に大いに役立っていると思います。

今も就業後スポーツセンターのプールで30分ウォーキングをして、昼間の足の血管の疲れを水圧で上にあげる効果をねらって毎日行い健康に気をつけています。

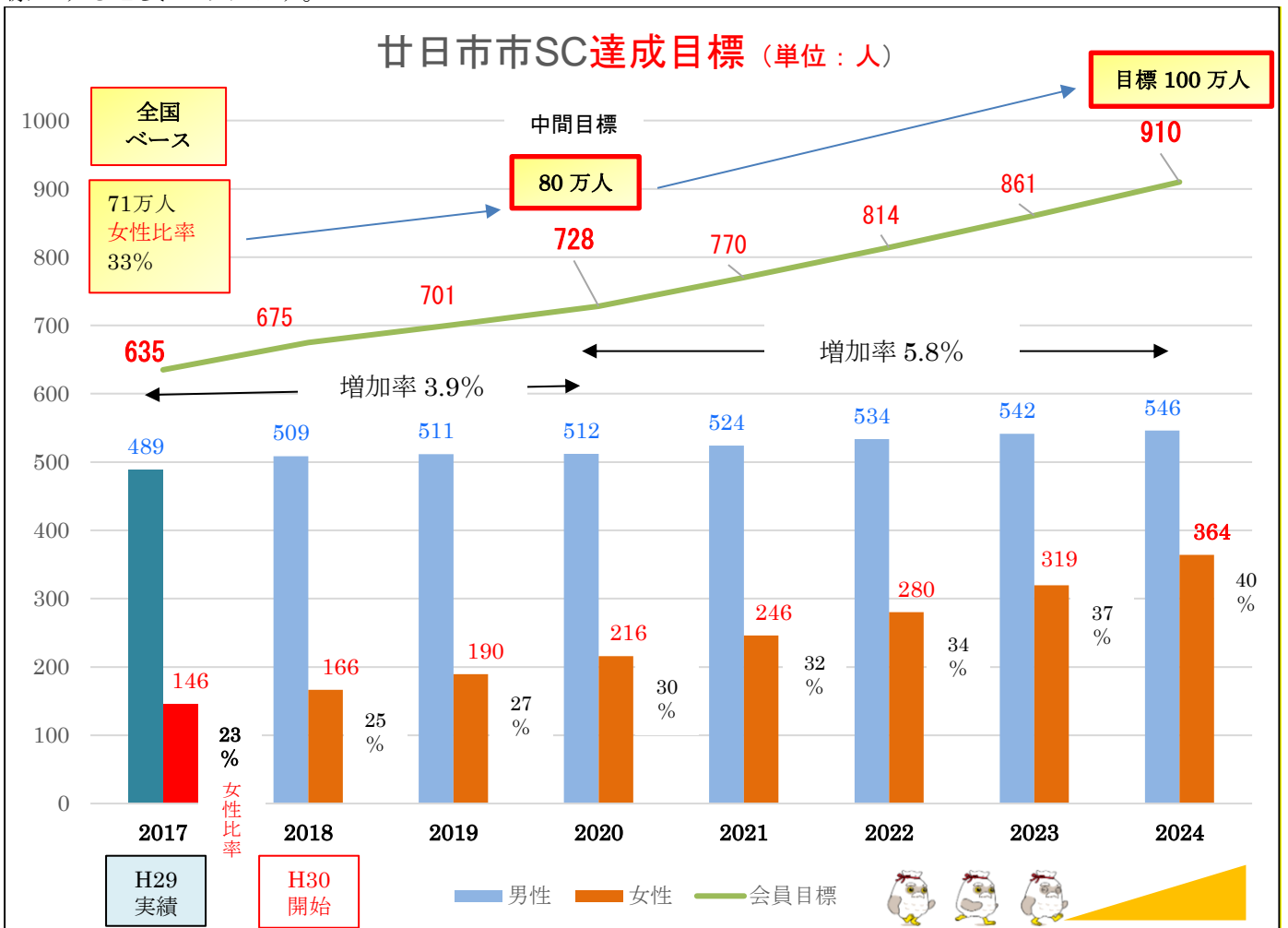
シルバー会員さんの中に農家の方もおられ新鮮な野菜などをいただいたこともあり、家族とも喜んでいきます。

一緒に活躍する仲間を増やして 会員100万人を目指そう

2018～2024年度の7年間で会員100万人達成計画

全国の第2次会員100万人達成計画は、2018（H30）年度から2024年度の7年間とし、中間目標の2020年度に80万人を目指し、2024年度の最終年では100万人を目標として取り組みます。

計画は、2017（H29）年度実績の会員数を基に2020年まで毎年3.9%、2021年度以降は毎年5.8%の増加率を乗じるものとしています。また、全国100万人が達成される2024年度の集約では、女性比率は40%を占めるものとしています。これらを当センターに置き換えれば、中間目標の2020年度で728人。2024年度の最終年では910人の会員が目標となります。さらに女性比率40%では364人の女性会員を目標とする必要があります。



※目標値の算定に当たっては、2017（H29）年度実績の会員635人を650名に上方修正した後、2020年までは毎年3.9%、2021年以降は毎年5.8%の増加率を用いた数値です。また、全国の2017年度女性比率33%に対し、当センターでは23%と10ポイント下回っています。女性会員の拡大が最優先課題となります。



一人でも多くの入会を

入会説明会風景

専門部会・委員会の活動



吉岡理事 若松理事 猪崎理事 舛原理事 茶木理事
総務 普及啓発 福利厚生 女性 安全就業

1人1会員
入会にご協力を



新年明けましておめでとうございます。昨年の役員改選に伴い、私たちはセンター組織の専門部会・委員会の所属長としての重責を担いました。役員一同、よろしくお願いたします。

総務部会長 吉岡 文朗

私は、部会委員の協力を得て、この重責を務めて参りたいと考えております。

さて、国は高齢者により長く働いてもらうため、70歳定年を企業に義務付ける施策を打ち出しています。また、シルバー人材センターにもその一端を担うことが期待されております。このような状況下、全国シルバー人材センター事業協会では、会員100万人を目標に種々の増強支援策が提案されております。もとより、当センターでも鋭意会員増強に取り組んできましたが、思うように会員増が図られてないのが実情です。しかし、高齢者にとって社会との接点は必要不可欠なことであり、そうした中でのシルバー事業は打って付けだと思います。

本年も「一声運動」で、仲間を増やしていきましょう。

普及啓発部会長 若松 秀敏

普及啓発部会長の大役に就任し、過去の諸先輩方に負けなようふんばりながら、頑張っていきたいと思っております。

さて、普及啓発部会の大きな目標の一つに「会員の増強」があります。昨年の3月末時点では、過去の積極的な普及啓発活動にも関わらず、残念ながら会員が減少いたしました。これは当センターに限らず、全国的にも同じ傾向にあります。しかし、そういう厳しい環境の中でも着実に会員が増え続けているセンターも全国には多々見受けられます。当部会も、新しいシルバー人材センターのあり方を模索しながら、各部会（総務部会・女性部会等）と連携を取り「会員確保」・「会員の増強」に向けて進んでいきたいと思っております。

会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

広報・福利厚生部会長 猪崎 宏治

広報・福利厚生部会長を就任させていただいて、早や半年が経ちました。

昨年は、秋に「日帰りバス旅行」を実施し、また、「あいプラザまつり」の行事に参加させていただき、活動を通じて親睦を深めてまいりました。本年も早々から「新年互礼会」やシルバー理事長杯の「囲碁大会」を企画しておりますので、会員の皆様に多数参加していただき、親睦の和の拡大を期待しております。

福利厚生部会は、本年も会員の健康管理や文化活動などの支援を実施し、会員相互の親睦を図りながら健康維持や健康増進に少しでも役立つよう邁進してまいります。

女性部会長 舛原 和子

理事に就任して三年、今年から女性部会の部長をさせて頂くことになりました。

昨年は女性部会も理事・役員の新旧交代があり、慣れないことの連続で大変でしたが、7月には新しい理事・役員で年間の行事などを確認、11月の「あいプラザ福祉まつり」での炊き込みご飯の販売などが終わり、これからの二年間を楽しみながら活動できればと思っています。

今年は、女性会員数の拡大を最重要課題に掲げ、多彩な計画を役員と共に考えながら女性会員拡大に繋がる提案を形にしていきたいと思っていますので、皆様のご協力を是非ともお願いしたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

安全・適正就業委員会委員長 茶木 武司

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」

安全・適正就業委員会活動では、安全就業を最重要課題とし、事故の未然防止、発生事故の検証と今後の対策、会員への情報提供など事故の撲滅に取り組んでまいります。

当センターでは、ここ数年の事故発生件数は年間10件前後で推移しており、事故撲滅が課題となります。会員の皆様の事故に対する意識向上に、より一層のご協力を賜りたく、宜しくお願致します。

就業の基本としては、定められた基準を守り「報告、連絡、相談」を実施すると共に、会員相互が共に助け合い、安全就業かつ発注先（お客様）に喜んで頂けるセンターを目指しましょう。なお、安全委員が巡回パトロールで皆様の就業先に立ち寄りますので、本年もご協力の程、宜しくお願申し上げます。

シルバー



はつかいち通信

自共共
主立働助

(全国统一 安全就業スローガン)

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

お知らせ

事務局の年末年始の休み
12月29日(土)
～1月3日(木)



「新年互礼会」の開催案内



会員同士の強い結束を目指し、新年互礼会を開催します。

- ◎ 日 時 平成31年1月20日(日)11:00～14:00
 - ◎ 場 所 安芸グランドホテル(廿日市市 宮島口西1-1-17)
 - ◎ 参加費 6,000円
 - ◎ 申込締切 1月11日(金)(参加費を添えてお申し込みください。)
- ※ JR宮島口駅から、ホテルまでのピストン送迎があります。
佐伯地域に限り、送迎があります。

養成講習

高齢者活躍人材育成事業

◆販売スタッフ養成講習(廿日市市)◆

- ◎ 申込締切り 平成31年1月10日(木)
 - ◎ 講習期間 平成31年1月24日(木)・1月25日(金)
 - ◎ 定 員 15名(定員を超える申込の場合は適性検査を行います。)
 - ◎ 講習場所 廿日市市シルバー人材センター
 - ◎ 事前説明会 平成31年1月17日(木)13:30～
廿日市市シルバー人材センター
- ★ 受講料:無料 ★ 受講対象者:60歳以上の方:
シルバー人材センター会員として就業可能な方
- ★ 問合せ先:広島県シルバー人材センター連合会(☎082-502-0468)

配分金支払証明書の郵送について

平成30年分(平成30年1月～12月支払い分)の「配分金支払証明書」は、1月25日(金)頃に郵送します。

新入会員の紹介（敬称略）

平成30年11月1日～11月30日まで

	地域班	新入会員氏名
廿日市	宮園	安達 忠雄
	阿品台	河村 貞男
	四季が丘	中津 和茂



平成31年1月 事故報告

月/日	性別	年齢	作業名	事故種類	事故の状況	原因	今後の対策	保険金
10/30	女	80歳	託児	人身事故	託児中の子供の顔に手が当たってしまい引っかき傷をつけました。	突発ですが、不注意による。	託児の際、細心の注意をはらいます。	12/中旬 支払予定

大野支所・宮島出張所だより

2018年も大変お世話になりました。今年も新しい出会いと共に寂しい別れもあった1年でした。2019年が皆様にとって良い1年となりますように。

お願い：12月28日（金）9時より、大野支所の大掃除を行います。お手すきの方はお手伝いいただければ幸いです。

入会説明会について

- ◆ 1月：1/10（木）13：30～（本所）
- ◆ 2月：2/5（火）13：30～（本所）
- 1/16（水）13：30～（大野支所）
- 2/7（木）13：30～（大野支所）
- 1/21（月）13：30～（本所）

お願い

<12月分の就業報告書及び勤務実績通知書の提出について>

12月分の配分金及び賃金の支払日は、1月25日（金）です。

この支払い日に間に合わせるために、12月分の就業報告書及び勤務実績通知書は、1月4日（金）までに、事務局にご提出ください。なお、事務局は1月3日まで休みとなっておりますので、休み期間中に持参される方は、シルバー事務所の「ポスト」に投函してください。ご協力をよろしくお願いいたします。

平成31年、寒さ一層厳しい季節でスタート。風邪、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染にご注意。また冬場には、火災の発件数が多くなりがち、ご家庭では、特に「火の始末」を念入りに！！
本年も、事務局職員一同、よろしくお願ひ申し上げます。



※表紙写真 提供 阿巖太鼓 タイトル文字 瀬良 智恵会員（地御前班） 干支「夢サロン」